

不当判決跳ね返し、安全第一の日航を

～4. 25福岡支援共闘会議 第2回総会・決起集会～



集会で決意表明をする山口宏弥乗員原告団長はじめとする原告団のみなさん

4月25日 JAL 不当解雇撤回をめざす福岡支援共闘会議は、福岡市内で第2回総会と決起集会を開き約120名の支援者らが参加しました。最初に、福岡支援共闘会議代表で憲法学者の石村善治氏と自由法曹団福岡支部長の山本一行弁護士から主催者挨拶が行われ、弁護団の山口泉弁護士より乗員・客乗両裁判の東京地裁不当判決の報告がされました。

TNC 社員化裁判原告の宮崎幸二さんと NTT リストラとたたかう通信労組福岡支部の安藝恵司書記長が連帯の挨拶を行い、新日本婦人の会、福岡県商工団体連合会、関門港湾労組協議会もともにたたかう決意表明を行いました。

原告6名がひとりひとり決意表明を行い、内田妙子客乗原告団長は「JAL 不当解雇は全労働者への攻撃。私たちの尊厳をかけたたたかいは、空の安全を守り国民のいのちを守るたたかひでもあります。」と、山口宏弥乗員原告団長は「航空連の歴代議長を解雇した組合潰しの解雇であり、沈まぬ太陽を無理やり沈ませようとするもの。団結して勝つまでたたかいます。」と力強く訴えました。



写真中央は、主催者挨拶をする福岡支援共闘会議代表、憲法学者の石村善治氏